



利根中央病院だより

きらめき



第71号
2024年 春号

発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

2024 院内災害訓練

2017年に法律が改正され、利根中央病院に隣接する片品川上流にある園原ダムの上流で豪雨が発生した際には、ダムの緊急放流による水害の発生が想定されることになりました。そこで、病院避難計画を策定し、2022年に続いて2回目の病院避難訓練を2024年2月3日に実施しました。

病院避難は当院だけで完結できるものではなく、沼田市をはじめとする行政機関、利根沼田地域の医療機関の皆様のご協力が必要です。

訓練は「片品川氾濫危険情報」の発出とともに災害対策本部を設置することから始まり、病院避難の準備を開始しました。「園原ダム緊急放流の決定」

病院長（統括DMAT） ^{せきはら} 関原 ^{まさお} 正夫



を以って病院避難開始となりますが、避難完了までの時間は4時間と規定されています。避難をするためには、入院患者さん・運ぶための車両・転院先・添乗する病院職員の4つの項目を決定（マッチング）しなければなりません。今回の訓練では、制限時間内に全員のマッチングを完了することができました。

訓練の結果、多くの課題を見出すことができました。その課題について議論を重ね、訓練の精度を上げていきたいと思えます。また、行政機関や地域医療機関の皆様との連携のさらなる強化を図ってきたいと考えています。



院内災害訓練の様子

能登半島地震 DMAT派遣



臨床検査技師 おぎの りょうこ 荻野 亮子

2024年1月1日に発生した能登半島地震へのDMAT派遣要請を受け、利根中央病院として1月4日から9日までの間に1次隊（医師1名、看護師2名、業務調整員2名）、7日から12日までの間に2次隊（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）が出動しました。七尾市の活動拠点本部より指令を受け、石川県の中でも被害が甚大であった、能登半島の先端に位置する珠洲市の保健福祉調整本部へ派遣となりました。

道中は土砂崩れや家屋の倒壊、津波などによる交通規制により、緊急車両のみ通行できる経路を利用しても、約7時間かかるという状況でした。珠洲市では建造物の被害、人員・物資の不足により多くの医療・福祉施設が機能不全に陥っており、孤立した避難所も多数ありました。

当院のDMAT隊は保健福祉調整本部にて、全国より参集したDMATチームと共に、主に医療機関や避難所等の情報を収集・整理・分析し、人員や支援物資の調整や配分などを行いました。また、1次



説明を受ける DMAT 隊員



保健福祉調整本部の様子

隊の看護師は避難所での急変への対応を、2次隊は患者搬送を行うなど、本部外での活動もありました。本部活動において、需要と供給のバランスの取り方や、緊急性と効率性の両立などの課題は多く、また調整本部内にはDMAT以外の様々な組織も参加しており、全体の統制や連携の難しさを感じました。

現地では余震も多く、強い揺れの後に緊急地震速報のアラームが鳴るなど、いかなる時も予断を許さない状況での活動は精神的にも肉体的にもハードなものでしたが、災害時の医療支援の重要性やチームワークの大切さを改めて認識させられる貴重な経験となりました。今後も災害時における迅速な医療支援体制の充実と、被災地への持続的な支援が重要であることを忘れず、災害対策への取り組みを行いたいと思います。

新任医師の紹介

総合診療科 ^{かたやま} **片山** ^{まさのり} **理智**

医師7年目、総合診療科所属の片山理智と申します。埼玉医科大学総合医療センターから半年間勉強に来ました。感染症を中心とした内科を専門にしています。趣味は空手、自転車、登山、家電、植物など。よろしくお願いします。



総合診療科 ^{なかむら} **中村** ^{もとやす} **元保**

川崎から参りました中村元保と申します。沼田での医療に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



総合診療科 ^{もり} **森** ^{みずき} **瑞樹**

大学病院救命救急センターで勤務しておりました。救急科専門医を取得し、総合診療をさらに学びに戻ってまいりました。地域の皆様のお役に立てるよう、丁寧かつ迅速な診療を心掛けます。どうぞよろしくお願いします。



消化器内科 ^{さいとう} **斎藤** ^{とよかず} **豊和**

今年度より消化器内科に赴任しました、斎藤豊和と申します。福井県出身です。利根沼田地域のことを知り、地域に根差した医療が実践できるよう努力して参ります。よろしくお願いします。



呼吸器内科 ^{よしだ} **吉田** ^{ゆうき} **佑貴**

今年度より新たに赴任いたします。医師5年目の吉田と申します。初期研修の2年間を利根中央病院でお世話になりましたが、この度呼吸器・アレルギー内科の後期研修医として新たに勤めさせていただきます。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



整形外科 ^{ありさわ} **有澤** ^{しんすけ} **信亮**

3年ぶりに働かせていただくこととなりました。小学校から大学まで水泳一筋でした。利根沼田地域の医療に貢献できるよう精一杯努めさせていただきます。整形外科疾患全般に診察いたします。丁寧で分かりやすい診察を心がけます。



整形外科 ^{にいじま} **新島** ^{ひろひと} **宏人**

4月より入職しました。新島宏人と申します。整形外科医として地域の医療に貢献できるよう努力してまいります。よろしくお願いします。



小児科 ^{しみず} **清水** ^{ゆうき} **佑基**

今年度より赴任いたしました。伊勢崎市出身で群馬大学を卒業しました。地域の小児科診療に少しでも貢献できるよう尽力致します。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いします。



小児科 ^{つちはし} **土橋** ^{さとみ} **里美**

今年度から小児科で勤務させていただくことになりました。高崎市出身で群馬大学卒業後、小児科4年目になります。子どもたちやご家族のために尽力したいと思います。至らない点多々あるかと思いますが、よろしくお願いします。



よろしく
お願いします!

外科 ほしの まりえ
星野万里江

今年度より外科に勤務させて頂く星野万里江と申します。出身は群馬大学で、学生時代から競泳を続けています。地域の皆様のお役に立てるよう尽力して参ります。よろしくお願い申し上げます。



精神科 ふじひら かずよし
藤平 和吉

大学病院から12年半振りの常勤復帰となりました。地域メンタルヘルスに尽力するとともに、院内の他科連携や、院外の教育・行政・司法分野のお手伝いも頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



産婦人科 うらべ ゆめこ
浦部 夢子

浦部夢子と申します。埼玉県出身、筑波大卒、初期研修は深谷日赤でした。母校で専門医取得後、厚労省で行政に少し関わりまた臨床に戻ってまいりました。趣味は硬式テニスです。よろしくお願いいたします。



産婦人科 みやかわ こうすけ
宮川 恒介

帝京大学より来ました、産婦人科専攻医2年目の宮川恒介です。東京から離れたことがなく地域先での生活に不安と期待でいっぱいです。ゴルフ・釣りが趣味なのでぜひ誘ってください。



臨床研修報告会

3月2日（土）、2023年度群馬民医連臨床研修報告会が開催されました。初期研修医および専攻医が1年間の研修で得た学びの報告を、指導医やコメディカルと共有することを目的として毎年開催しております。

「私を成長させてくれた事例」をテーマに全体で22演題の発表があり、臨床現場での経験だけでなく初めての学会発表や英語論文作成に取り組んだ体験などについても報告されました。

報告会の終了後には、研修修了者へ記念品贈呈のセレモニーと、研修医やコメディカルによる投票で選ばれた指導医を表彰する「グッドティーチャー賞」の授与も行われました。



研修医の紹介とごあいさつ

新年度を迎え、当院に新たに初期研修医6名が加わりました。若いやる気に満ちた、研修医をはじめとした新人が加わることで院内が活性化される感があります。

初期研修医には、研修期間中にまず医師としてのしっかりとした基礎をつくって、地域の医療にも貢献してくれることを期待しています。視野を広くもち、それぞれの目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。

「鉄は熱いうちに打て」という格言がありますが、まさに臨床研修にも当てはまる言葉だと思います。医学は日々進歩していきますので、アップデートしていかないと遅れをとることになりますが、身につけた医療に対する姿勢というのは変わらないものだろうと思います。よりよい臨床研修ができますように今後とも御指導・御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



研修プログラム
責任者・副院長
吉見 誠至

初期研修医 宇佐美千晴



今年度より研修医としてお世話になります。私は大学2年生の時に民医連奨学生となり、奨学生生活や病院実習をさせていただいております。これからは医師として民医連と利根沼田地域の医療に貢献できたらと思います。

初期研修医 熊谷ちとせ



今年度より入職いたしました、熊谷ちとせと申します。東京都出身で、群馬大学を卒業しました。利根沼田の地域医療に貢献できるよう日々精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

初期研修医 小野慎太郎



今年度より研修医としてお世話になります。広島大学出身ですがやはり地元利根沼田が良く、当院で研修をさせて頂けることを嬉しく思っております。地域の皆様に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

初期研修医 鈴木 美博



今年度より研修医としてお世話になります。福井県出身で、公務員として勤務した後、群馬大学に編入学しました。未熟な身ではありますが、この地で皆様のご指導のもと、精進してまいります。よろしくお願いいたします。

初期研修医 木村 優也



今年度より研修医としてお世話になります。木村優也と申します。高崎市出身で、大学では硬式テニス部に所属していました。皆様のお役に立てるよう日々努力してまいります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

初期研修医 高岡 凌太



高岡凌太と申します。生まれも育ちも愛媛県で、両親の移住がきっかけで沼田市を知りました。初めて故郷を離れての生活になりますが、仕事を通して毎日少しずつ成長出来るよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



能登半島地震 災害支援ナース派遣

たかのほし あけみ
看護師 鷹嘴 朱美



日本看護協会災害支援ナースとは、看護職能団体の一員として、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めるとともに、被災者が健康レベルを維持出来るように、被災地で適切な医療・看護を提供する役割を担う看護職の事です。

今回、能登半島地震において災害支援ナース要請があり、当院より2名が支援活動に参加しました。支援先は金沢市内にある「いしかわ総合スポーツセンター」の1.5次避難所でした。メインアリーナにはテントが205個あり、1つのテントで2名まで利用できます。利用者は250人前後でしたが、介護の必要な高齢者が多かったです。支援内容は日勤・夜



ミーティングの様子

勤業務で、バイタル測定・健康観察・診療介助が中心でした。高齢者が多いため夜間転倒もあり救急搬送になったり、嘔吐・下痢も蔓延してしまい、状態観察を行い、受診を勧めたりしました。狭いテント内生活で家族感染を起こしてしまうケースが多く、避難所での感染対策の難しさを実感しました。

今回初めての経験でしたが、支援先が1.5次避難所ということで、ライフラインも安定しており、落ち着いた環境の中で支援活動ができました。今回の経験を、今後の業務にも活かしていきたいと思えます。



避難所テントでの支援



書類の作成



全国から集まった災害支援ナースと記念撮影